

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 古河市立西牛谷小学校 】

1 実践テーマ	I・V
2 実施対象者 (学年・人数)	3年生29人、6年生45人 合計74人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① <b>教科名</b> (総合的な学習の時間、体育) ② <b>行事名</b> (オリンピック・パラリンピック学習会) ③ <b>その他</b> (オリンピック・パラリンピックコーナーの設置) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック為末大さんから直接指導を受けたり、話を聞いたりすることにより、夢を持つこと、あきらめず努力することの大切さについて、理解が深まるようにする。</li> <li>・オリンピック為末大さんの走りを実際に見ることによって、スポーツのもつ魅力・素晴らしさに触れて、東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まるようにする。</li> </ul>
5 取組内容	<p><b>1. オリンピックの意義や歴史についての事前学習</b></p> <p>クイズ形式でオリンピック・パラリンピックの意義や歴史について学ぶことにより、東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。</p> <p>オリンピック為末大さんの映像や資料を使って、為末さんが残してきた記録の偉大さについて学んだ。また、為末大さんの世界陸上400MHで銅メダルを獲得した走りの映像を見て、「一緒に走りたい」という気持ちが高まった。</p>
	

## 2. オリンピアン為末大コーナーの設置

図書室にオリンピック為末大コーナーを設置し、本人の考え方に触れることで陸上競技やオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。



## 3. オリンピック・パラリンピック学習会

①講師：為末大

②内容：  
・ハードル走の体験（3年生・6年生）  
・ハードル走の実演（3年生・6年生）  
・質問コーナー（3年生・6年生）

③日時：令和2年10月2日（金）13時～13時50分（3年生）  
14時～15時（6年生）

④ハードル走体験や質問コーナーの様子



	時刻	活動内容	留意点
	13:00	①はじめの言葉 ②校長先生のお話 ③為末さんのお話 ④陸上教室 体操・ウォーミングアップ 走り方を学ぶ ハードル	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師紹介を含む</li> <li>③～⑤の進行は講師が行う。</li> <li>児童の様子を見て、水分補給・トイレ休憩の時間をとる。</li> <li>各学年で事前に説明をし、質問してみたいことを考えておく。</li> </ul>
	14:00	①はじめの言葉 ②校長先生のお話 ③為末さんのお話 ④陸上教室 体操・ウォーミングアップ 走り方を学ぶ ハードル	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師紹介を含む</li> <li>③～⑤の進行は講師が行う。</li> <li>児童の様子を見て、水分補給・トイレ休憩の時間をとる。</li> <li>各学年で事前に説明をし、質問してみたいことを考えておく。</li> </ul>
	15:00	⑤質問コーナー ⑥お礼の言葉 ⑦花束贈呈 ⑧終わりの言葉	
	<p>オリンピック為末大さんに来校していただき、学習会を行った。オリンピックに実際に参加した人から話を聞くことにより、自分の目標を達成するために努力することの大切さを学ぶことができた。</p>		
6 主な成果	<p>○オリンピック為末大さんから直接指導を受けたり、話を聞いたりすることにより、オリンピックのことばに熱心に耳を傾け、全力で走る児童の姿があった。</p> <p>○ハードル走を体験した児童から、当日、次のような感想があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生男子児童 「もっと基本練習して、速く走れるようになりたい。」</li> <li>・6年生女子児童 「横から足を持ってくるように教わって、きれいに跳べるようになった。」</li> <li>・6年生女子児童 「ハードルがきれいに跳べた。オリンピックをテレビで観るのが楽しみだ。」</li> <li>・6年生女子児童 「スタートの姿勢など、どこをどうしたらいいか気づかせてくれた。」</li> </ul> <p>児童がスポーツのもつ魅力・素晴らしさに触れ、スポーツや東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。</p>		
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックを講師として招いたこと。</li> <li>・児童が小学生用のハードル走を体験してから、為末さんに一般用の高いハードルで模範の跳び方を実践していただいたこと。</li> <li>・話を聞く時間よりも、各児童の体験の時間、体を動かす時間をできるだけ多くとったこと。</li> <li>・普段の体育の授業で指導が難しいハードル走を指導していただいたこと。</li> </ul>		
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため全校児童対象で実施することができなかった。次回は、全校児童対象に実施したい。多くの児童がオリンピックと触れ合う機会がもてるとよい。</li> </ul>		
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックやパラリンピックについての図書を活用し、スポーツの素晴らしさについての学習を実施する。</li> </ul>		